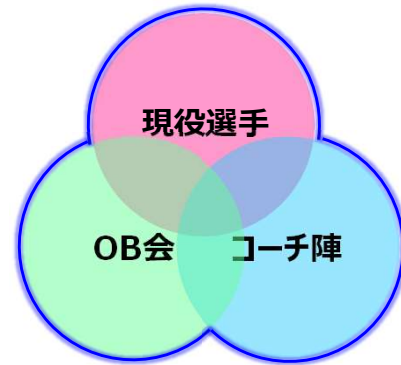


膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆目次

- 背景
- OB会のあるべき姿の設定
- 取り組むべき項目の絞り込み
- 理想形の設定
- 目標・施策の設定
- 対策案設定
- 年間計画



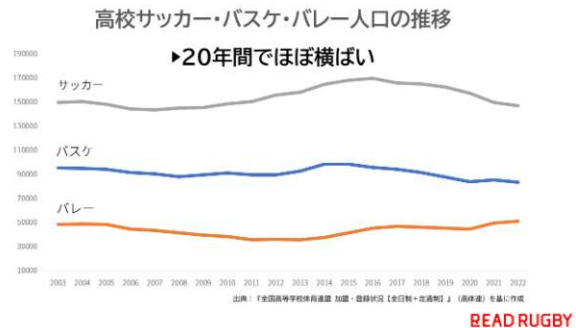
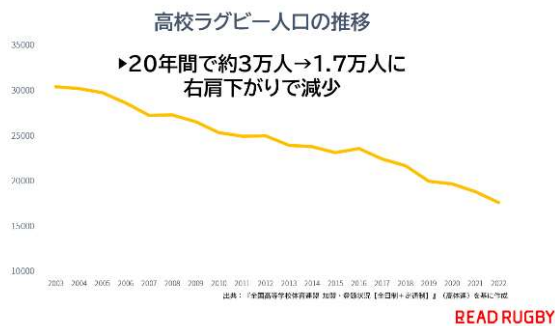
OB会活動方針案を提出します

1

膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆背景

最近時20年間で高校ラグビー競技人口が45%減少。
他の団体競技の協議人口が横ばいなのに対し、大幅な減少がみられる。
膳所高校でも例外ではなく、2002年時54人(マネージャー3人除く) に対して2024時点で12人(1.2年生)である。
また、膳所高校の定員も440から360人へ削減。



高校ラグビー人口20年で「4割減少」の衝撃。他競技との兼部やシーズン制が打ち手になるか - リードラグビー

膳所高校ラグビー部として、永続的に存続できる**環境創り**が必要。

2

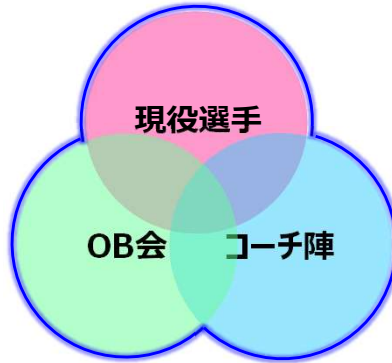
膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆各エリアの役割 OB会のあるべき姿・・・(林案 規約読んでないので規約内容とアンマッチしてたらすいません)



- ・ 勉学に励み、人間性を高める
- ・ ラグビーを通じ、「品位・情熱・結束・規律・尊重」の精神を学ぶ

- ・ 現役選手へ、**より良いラグビー環境**をサポート(費用・練習機会の創出)
- ・ 現役選手卒業後もZRFCOB活動に**参加したくなる環境**の創出



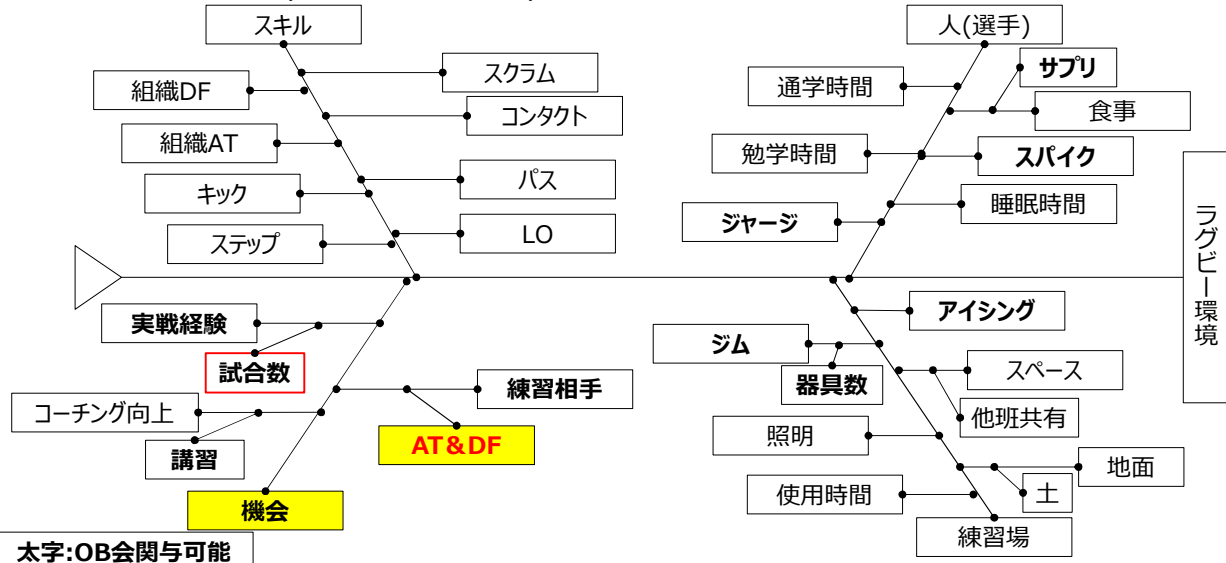
- ・ 現役選手へのスキルコーチング
- ・ ラグビーを通じた人格形成のサポート
- ※個人の家庭環境が第一

OB会として①現役選手へ、より良いラグビー環境をサポート
②現役選手卒業後もZRFCOB活動に参加したくなる環境の創出 についてのA00とし今後の計画を推敲する

3

膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆ラグビー環境要素について (OB会がサポートできる事)



OB会が資金援助以外で関与可能項目で 有益な「AT&DF」の機会 を重視したい ※選手が成長する「試合」設定は別途検討

4

膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆現役に有益な「AT & DF」の機会 に対する DA(練習相手)

		現役スキル習得	参加者怪我リスク	選手怪我リスク	OB参加予想	判定
練習相手	20代中心	◎	◎	○	不明	◎
	30代中心	◎	○	○	不明	◎
	40代中心	○	○	○	▲	○
	50代中心	△	▲	○	○	▲
	60代以上中心	▲	×	○	◎	×

現役選手とのAT & DFの相手としては20代・30代中心としたOBの参加が必要

◆現役に有益な「AT & DF」の機会 に対する DA (参加頻度) ※コーチ陣の意見は別途確認

		他校練習試合への 圧迫	参加可能人数 見通し	グラウンド調整負荷 ※林独自判断	コーチ陣への負荷 ※林独自判断	判定
AT & DF頻度 ※基本は土日祝	1回/2週	×	×	×	×	×
	1回/月	○	○	○	▲	▲
	1回/2か月	◎	◎関東組参加容易	○	○	○
	1回/3か月	◎	◎関東組参加容易	○	◎	○
	1回/4か月	◎	◎関東組参加容易	◎	◎	○

結論: (A) 20-30代を中心とした (B) ※恐らく1回/2~3か月 頻度の現役/OB合同のAT & DFが理想

5

膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆現役選手卒業後もZRFCOB活動に参加したくなる環境

ペルソナ(1)

年齢:20代 大学生
練習内容:ハード(フルコンタクト)希望
繋がりたいOB:20代(同世代)
練習頻度:1か月に一度
全体希望人数:20人以上
※大学部活動の休み中がBEST

ペルソナ(2)

年齢:20代 後半 社会人(独身)
練習内容:程よく安全な
繋がりたいOB:20-40代
練習頻度:2か月に一度
全体希望人数:20人以上
※土曜日の昼から日曜日の朝

ペルソナ(3)

年齢:30代-40代 社会人(家族あり)
練習内容:安全な第一
繋がりたいOB:幅広く
練習頻度:2-3か月に一度
全体希望人数:20人以上
※土曜日の昼から日曜日の朝

練習内容→林が各人のレベルに合わせたMENUを設定
練習頻度→2、3か月がBEST (確実に20人以上を確保する為)※好評なら頻度増加
開催日→日曜日AM
開催場所→膳所高校

上記内容をOB会/コーチ陣に提案したい

6

膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆OB参加者向上の為の参考 (SA:マスタース花園事例)

- ① 関東組の練習回数 1回(OB 木村さん 安齋さん で他チームと練習)
関西組の練習回数 約8回 Ave 30人で実施(参加者は複数回参加) → **参加人数が多いとメンバーも定着しやすい**
- ② 関西組の練習も土日連続すると土曜日30人以上 日曜日10人と大幅に減少する
※OB家族への負荷は最小限に抑えなければならない
- ③ 関西組：練習日時の早期連絡 ◎ → 各人が予定を立てやすい。
マスタース花園の前は各同期で連絡を取り合い参加日を監督もしくはスケジュールを確認し参加
→OB全体で予定を共有 / 各世代の窓口(顔役)が積極的に同世代にアプローチ をすれば参加者が増える見通しあり
- ④ 関西組は練習プランニング → 新しいスキル習得機会をOB会 運営側は提供する事を努力する (他校OB参加者あり)

◆目標

OB-現役の「AT&DF(15vs15)」機会の提供

※チームスポーツであるラグビーの本来の楽しさを伝えたい

◆施策…(OB運営側)

- A) 開催日程の早期連絡 (年間計画早期展開)し、関東組含め帰省予定を建てやすくする。特に連休初日等を利用する。
- B) 参加者が常時30人以上参加している風景をSNSで配信し、参加者定着を目指す
- C) 各OB世代のリーダーを設定し参加者増加サポートを貰う(代表者の学年±1or2年)
※基本はOBは現役コーチから要請があるまでは別練習 練習内容は運営側が用意する。

上記目標をコーチ陣・OB会理事側に承認頂き、2025年のOB会 取り組みとしていきたい

7

膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆年間計画(DRAFT)

2025												
Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	
	◆ 新人戦		◆ 春季大会	◆ GW練習			◆ 夏合宿		◆ OB練習	◆ マスタース花園	◆ 花園予選	

OB会と現役チームでのAT&DF機会を調整したい (森監督 水野コーチ)

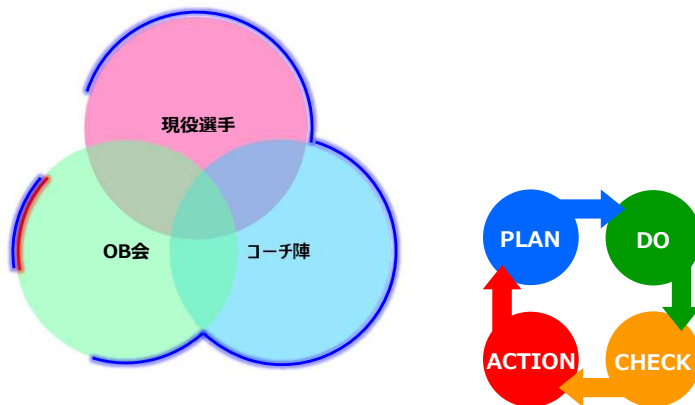
8

膳所高校RFC OB会活動方針案 2024

◆OB会としての「ありたい姿」の設定・・・林案（A00）

- 現役選手に対する資金バックアップ(OB会費の支払い)
- 現役メンバーに15対15でのAT&DFの場を設定し、現役選手のスキルアップに貢献する
- 現役チームへのスキル干渉は最小限に努める。※現場監督・コーチ陣より依頼があった際は最大限のサポートを行う
- マスターズ花園を各世代25人以上のメンバーを揃え、随時招待されるチームを目指す。
- マスターズ関西・関東組で

9



10